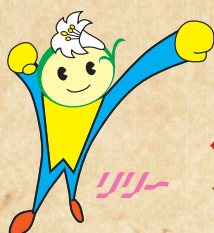




和泊町子ども議会 武 美波議長



第105号

主な内容

おもな審議事項.....	2
全ての会計決算を承認.....	3
一般質問.....	4～9
子ども議会.....	9
臨時会.....	10
議会運営委員会の構成等.....	10

町の人口

平成21年11月1日現在	
男	3,550人
女	3,710人
計	7,260人
世帯数	3,160戸

議会だより わどまり

発行 平成21年11月25日 鹿児島県和泊町議会
編集 議会報編集委員会
〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地
TEL (0997) 92-2569
FAX (0997) 92-3176
ホームページ <http://www.town.wadomari.lg.jp/>

平成21年第3回定例会

9月8日から9月18日までの11日間

平成21年度一般会計予算 **57億991万8千円**
6億305万5千円を追加

地域活性化・経済危機対策の各事業実施へ 玉城字に介護予防拠点施設を整備



和泊町子ども議会

おもな審議事項

◎平成21年度一般会計補正予算
(第2号)

歳入歳出予算をそれぞれ6億3025万5千円増額し、予算の総額を57億9981万8千円とするもの。

歳出の主なものは、小学校体育館耐震補強改修事業費2億1392万9千円、ごみ処理施設関連事業公債に伴う知名町への

負担金7854万5千円、財政調整基金費6300万円、地域活性化・公共投資臨時交付金事業費(道路架橋費)5010万円、わどまりユビキタス&MI B構築事業費2999万7千円、介護予防拠点施設整備事業2760万円及び学校ICT環境整備事業費2720万円の増額等の予算措置。

◎平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算をそれぞれ859万6千円増額し、予算の総額を10億6781万8千円とする。

◎平成21年度老人保健保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算をそれぞれ66万2千円を増額し、予算の総額を2445万2千円とする。

◎平成21年度和泊町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算をそれぞれ1314万9千円増額し、予算の総額を7億5125万5千円とする。

◎平成21年度和泊町後期高齢者

医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算をそれぞれ141万円減額し、予算の総額をそれぞれ7347万4千円とする。

◎平成21年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算をそれぞれ548万6千円を増額し予算の総額を2億4022万9千円とする。

◎平成21年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算をそれぞれ2659万2千円減額し、予算の総額をそれぞれ2億7356万3千円とする。

条例

◎和泊町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

健康保険法施行令の一部改正に伴い、経過措置として出産育児一時金の金額を見直すため、関係条例の一部を改正するもの。

人事案件

◎教育委員会委員の任命
任期満了に伴う再任

朝戸 弘文氏(後蘭)

◎固定資産評価委員会選任に同意
松山 廣志(出家)

任期満了に伴う再任
福山 肇氏(喜美留)

意見書(議員提出)

◎甘味資源作物に関する意見書

◎教育予算確保に関する意見書

その他

◎財政健全化判断比率について

◎資金不足比率について

◎新たに生じた土地の確認について

◎字区域の変更について(伊延字)

採択された陳情書等

◎教育予算の拡充を求める意見書の採択要請について

◎甘味資源作物に関する陳情書について

◎区画整理事業農家負担金借入の和泊町への移管及び基金の設立と運営補助金に関する陳情書について

平成20年度 全ての会計決算を認定

平成20年度の一般会計及び特別会計・水道事業会計は決算審査特別委員会に付託審査され、最終本会議で採決の結果全ての決算が認定されました。

一 般 会 計

【歳入】70億4253万5千円

(対前年度比 7億2340万7千円増)

単位：千円

区 分	決 算 額	対前年度比
町 税	577,068	7,355
地 方 譲 与 税	95,865	△2,660
地 方 交 付 税	3,101,250	178,774
分担金及び負担金	43,351	△2,292
使用料及び手数料	66,765	△1,742
国 庫 支 出 金	815,535	175,180
県 支 出 金	280,172	△245,074
財 産 収 入	29,728	△2,469
繰 入 金	600,420	85,342
繰 越 金	160,012	1,833
町 債	1,092,500	535,400
そ の 他	179,869	△6,240
合 計	7,042,535	723,407

【歳出】66億74万6千円

(対前年度比 4億4163万円増)

単位：千円

区 分	決 算 額	対前年度比
議 会 費	90,086	△ 1,403
総 務 費	1,412,921	812,434
民 生 費	860,306	123,623
衛 生 費	514,383	△116,113
農 林 水 産 業 費	676,919	△224,685
商 工 費	31,407	△81,287
土 木 費	878,365	△147,331
消 防 費	162,407	27,767
教 育 費	392,805	△73,984
災 害 復 旧 費	1,792	△4,263
公 債 費	1,166,774	122,438
諸 支 出 金	412,581	4,434
合 計	6,600,746	441,630

特 別 会 計

【歳入】26億3024万8千円

(対前年度比 7億2966万3千円減)

単位：千円

区 分	決 算 額	対前年度比
国 民 健 康 保 険	1,079,970	71,600
老 人 保 健	94,958	△744,639
介 護 保 険	720,320	3,384
奨 学 資 金	11,583	△6,848
下 水 道 事 業	380,035	17,437
農業集落排水事	243,016	10,994
伊延港ふ頭用地造成事業	34,490	△4,267
後期高齢者医療	65,876	65,876
合 計	2,630,248	△729,663

【歳出】25億7819万2千円

(対前年度比 7億3485万2千円減)

単位：千円

区 分	決 算 額	対前年度比
国 民 健 康 保 険	1,076,944	△72,660
老 人 保 健	86,744	△752,845
介 護 保 険	717,861	8,942
奨 学 資 金	2,852	△14,294
下 水 道 事 業	379,942	20,518
農業集落排水事	243,003	11,061
伊延港ふ頭用地造成事業	6,436	16
後期高齢者医療	64,410	64,410
合 計	2,578,192	△734,852

水 道 事 業 会 計

単位：千円

区 分	総 収 益	総 費 用	純 利 益
水道事業会計	170,227	169,518	709



喜美留住宅団地を視察する議会

第4回定例会

い

っ

ぱ

ん

質

問

— 住みよい町づくりに向けて —

(この質問と答弁は質問した議員が簡潔にまとめたものです)

- ① 道路改良について
② 天皇后陛下即位二十周年記念事業について



奥 村蔵議員

質問 道路改良について

① 和泊小学校への通学路が歩道付きで部分毎に改良されているが、昭和橋の歩道側、車両側の欄干には高低差があり、幼児・児童には大変危険だと思いが改良できないか。

答弁 昭和橋については、車道側は標準設計値の路面から一メートル、歩行者等の転落防止を目的として設置する歩道側の柵は、路面から一・一メートルの標準値で施工してある。交通安全教育の面からも、幼児・児童は車道を歩かないで、歩道を通園、通学するように、家庭や学校で指導を徹底していただきたい。



工事中の昭和橋

② 手々知名の南洲神社前のバス停留所を、交通緩和の為の改良はできないか。

答弁 バス停の改良については、公衆用トイレ、欄干、鳥居、ガジュマル等があるので、現在の素晴らしい景観を損なわないよう、移動



南洲神社前のバス停

や取除きについて、南洲神社を管理している手々知名字、戦没者遺族会、西郷南洲顕彰会、そして沖永良部バス企業団と協議し、方策を検討したい。

質問 本年一月七日で御在位満二十周年を迎え十一月十二日は天皇后陛下即位二十周年にあたり、各種事業計画が進められているが、本町での事業計画はどうなっているか。

答弁 本町においては、SSTV等を活用して、宮内庁が制作した「在位二十周年を記念」する記録ビデオの放映や国旗掲揚の啓発等を行い、慶祝ムードを盛り上げて行きたいと考えている。又、関係機関と連携して、町の主催する各種行事の開催や緑環境の普及を啓発を含めた記念植樹についても実施していきたいと考えている。

- ① 産業の振興について
③ 収納率向上について

- ② 少子高齢化対策について



宮田 裕雄議員

質問 産業の振興について

① 農業の振興についてどのような具体策を考えているか。

答弁 実験農場を活用して新しい品目、品種の開発導入に努め、安心・安全な

農産物を生産し、消費者の安心と信頼の得られる産地づくりに努める。又、専作農家が増えている一方で、さとうきびの受委託を中心



実験農場ののんにく栽培試験

とした集落営農への取り組みを行っていく。

②商業の振興についてどのような具体策を考えているか。



活気を取り戻せ商店街

答弁 県商店街活性化支援事業の活用や町単の共生・協働の商店街活性化モデル事業の継続実施・ICT（情報通信技術）を利用し、町内におけるネット注文、宅配等の新しい商業振興策について取り組んで行く。

質問 少子高齢化対策について

①子育て支援策についてどのような対策を考えているか。

答弁 保育需要に対応するための一時保育事業、一時的に医療機関で預かる病児・病後時保育事業、放課後に児童を保護する者のいない

家庭で、保育を必要とする小学校低学年児童を受け入れる放課後児童健全育成事業を行う。更に、経済的な支援として、乳幼児医療費助成事業、父子手当支給事業、ひとり親家庭医療費助成事業、多子世帯保育料軽減制度や妊婦検診の公費負担により、妊婦の経済的負担の軽減も図っていく。

②高齢化が進行する中で福祉政策をどのように進めていくか。

答弁 国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業を活用して介護予防拠点施設を一ヶ所整備し、高齢者の健康・介護予防を進める。また、緊急通報システム事業や自動消火器設置等の日常生活用給付事業等の実施や介護保険サービスの充実を図っていく。

質問 収納率向上について

①収納対策課を設置して半年を迎えるが、収納状況はどうなっているか。

答弁 町民の納付意識の高揚と負担の公平性を確保

するために、本年四月一日から収納対策課を設置して未収金の回収に取り組んでいる。また、本年度から国税の賦課徴収が税務課へ移管され、国税の徴収率は現年度22・5%（前年度同月比1.8%減）、滞繰分11・7%（前年度同月比2.9%増）となっている。

②収納率向上にどう取り組んでいくか。

①果樹園芸の振興対策について



山下 幸秀議員

質問 近年、本町でも付加価値の高い果樹の栽培が普及してきているが、販路拡大とブランド化へ向けた取り組みは出来ないか。

①マンゴーの栽培について。

答弁 栽培農家の増加に

答弁 固定資産税、軽自動車税、住民税、国保税の四税について、文書や電話による催告及び昼夜の臨戸訪問徴収等を実施している。現在、高額・多重滞納事案の金額設定を行い、設定金額以上の滞納事案については、預金調査等を約100件実施した。可能なものについては差押えの手続きを進めている。

樹生産組合と共販に向けて、出荷基準の検討等を行いたい。

②柑橘類、びわ、パッションフルーツの栽培について。

答弁 パッションフルーツは、マンゴーハウス等の側面を利用した栽培が増えているが、柑橘類、びわについては栽培量が少なく、今後、産地化可能調査等を含めて、果樹組合やJAと協議し検討していく。

③果樹や樹木葉を利用した飲料水や健康食品の加工技術の導入について。

答弁 消費者間で健康食品はブームとなっており、そのニーズに応えるためにも加工技術の研究等を進めていきたい。

④強化型ビニールハウスの導入助成について。



増加するマンゴーハウス

より、大島支庁から専任技師を招き、栽培技術の講習を実施している。まだ小規模農家が多く、独自の販売ルートであり、販路の整備はされていない。今後、果

答弁 強化型ハウスについては、原則三戸以上の組合事業で、奄美農業創出支援事業を活用することができ、補助率は2/3となっており、建設費は約4割高となる。

⑤ 病害虫対策について

答弁 重要病害のカンキツグリーニングについては、県が中心になり三年毎に調査、防除を行っており、本年度も発生地区を中心に薬剤散布が計画されている。他の果樹害虫については、講習会等で指導を徹底し、早めの情報提供を行うことで、病害虫の被害軽減を図っていききたい。

- ① 花き専門農協の支援について
② 屋者川の保全について
③ 害虫の異常発生について



豊枝 敏勝議員

質問 花き専門農協の支援について

- ① 本町の花き振興の面から花き専門農協の位置付けと支援策をどう考えるか。

答弁 本町農業の中で、花き類の生産額は全体の約半額を占めており、重要な品目であると認識している。今後とも、積極的に生産基盤の整備に努めるとともに、実験農場を活用した優良種苗の供給、新品種の試験研



新たにスタートした花き専門農協

究等を行い支援していききたいと考えており、花き専門農協をはじめ、JAわどまり等の関係機関と十分連携しながら取り組んでいく。

② 急速に変化する時代に対応するため、流通体系（沖縄経由）の検討が必要だと思いが、行政としてはどう

考えているか。

答弁 流通体系を検討する上で、沖縄は鹿児島本土より近く、市場までの輸送時間を考えれば、時間短縮が図られ有利販売ができるものと考えている。物流の拡大による需要の動向や輸送費の状況を見極めながら、町内の関係機関と一体となって調査、研究していく。

質問 近年、山林の開発が進み、将来的に貴重な水資源の確保が危惧されるが、町で周囲の土地を買い上げ、源流の保全を図る必要があると思うがどう考えているか。

答弁 町で背後地を購入して保護するのも一つの手段であるが、先人達が大切に残してくれた貴重な財産である水資源を、地域全体で見守り残していく為にも、乱開発が行われないよう地権者の理解を求めて行きたい。更に、越山周辺全域の森林保全が屋者川等周辺湧水の源となっており、貴重な水資源確保に繋がるので、今後とも、植林等を視野に入れた自然環境の保全に努めたいと考えている。



屋者川の源流

質問 最近、クロマダラソテツシジミ、キオビエダシムシ及びデイゴの葉を食する害虫の異常発生が見られるが、その対策をどう講じるか。

答弁 クロマダラソテツシジミは、本町において二年前に確認され、幼虫がソテツの若葉を食して被害が散見されている。トレボン乳剤、スミチオン乳剤で、今後とも発生状況を注視しながら防除を啓発するとともに、蔓延防止に努めていく。キオビエダシムシ、デイゴヒメコバチ等の害虫に対しても、登録された農薬での防除を指導し、蔓延防止に努めるとともに、対応策を県の担当課と協議しながら取り組んでいく。

- ① 地球温暖化防止対策について
③ 新型インフルエンザについて

- ② 道路維持管理について
④ 医療・介護施策について



永野 利則議員

質問 地球温暖化防止対策について

- ① 温室効果ガスの削減に向け、

省エネ家電を促すエコポイント制度が導入されているが、地元での交換商品についての取組みはどうなっているか。

答弁 地元でのエコポイントの利用促進を図り、商店街の活性化対策として、プレミアム付きの商品券発行を内容とした共生協働の購買力向上対策事業補助金



雑草が繁茂する道路

を今議会の補正予算に計上したところである。

②各地で起きている様々な自然災害に町民が危機感を持ち、低炭素化社会に向けて意識改革が必要だと思いがその対策はどうなっているか。

答弁 本町では、地球温暖化防止に向け、積極的な実践活動を展開する為、県民運動推進員や育成会、商工会、地域女性連絡協議会、長寿クラブ、その他の関係者で組織した、「わどまりエコクラブ」を設立している。

質問 和泊町北海岸を通る国頭く半崎の維持管理をどう考えているか。

答弁 現在、当地区で沈

砂池の掘削工事を行っているが、工事完成後に舗装の壊れた箇所については、舗装復旧を行う計画になっている。

質問 新型インフルエンザについて

①新型インフルエンザは若い体力のある方も発病し糖尿病、腎臓疾患の高齢者死亡も出ているが、今後の対応はどうなっているか。

答弁 高齢者の方々、心臓病、腎臓疾患をお持ちの方々には、電話や家庭訪問による感染予防対策の啓発や行事の自粛要請を行い、関係団体と連携を密にし、感染予防、拡大防止と併せ、予防接種に対する助成等、総合的な新型インフルエンザ対策を実施していく。

②年齢と共に肺炎による死亡率が高くなっているが、肺炎球菌ワクチン予防接種の考えはないか。

答弁 予防接種法に基づく定期の予防接種と違い、任意に基づく予防接種ワクチンとなっていることから、

ワクチン摂取への町助成事業の創設については、関係機関から情報収集、協議、調査をしながら検討する。

質問 医療・介護施策について

①医療と介護の両方で多額の出費世帯に配慮した、「高額医療介護合算制度」が始まっているが、町民への周知はできているか。

答弁 新しくできた制度であるため、パンフレットに基づく説明や広報わどまりの本年6月号に制度の説明や申請手続きについて掲載し、住民への周知を図っている。

②介護における地域包括支援センターの役割は多岐にわたるが、



保健福祉課入口正面奥が相談室です

あるが、町民誰もが気軽に相談できる相談室を確保する考えはないか。

答弁 訪問相談員を配置し、在宅訪問によって高齢者の生活支援を行ってきたところであるが、今度、課内に簡易な相談室を設けた。町内の皆さんの様々な相談が気軽にでき内容等の保護を最大限に考慮した相談室にしたいと考えている。

①平成二十年度農畜産物の生産実績について
②未収金の徴収状況と今後の対策について



谷山 健一郎議員

質問 平成二十年度農畜産物の生産実績について

①各作物毎の生産量、生産額及び対前年度比はどうなっているか。

答弁 さとうきびは生産量が対前年度比109%の38,908トンで、生産額は対前年度比108%の839,580千円、バレイシヨは、生産量が対前年度比107%6,639トんで生産額は対前年度比9

ろであるが、今度、課内に簡易な相談室を設けた。町内の皆さんの様々な相談が気軽にでき内容等の保護を最大限に考慮した相談室にしたいと考えている。

9%の980,661千円、石川里芋は生産量が対前年度比並の755トンで、生産額は106%の377,803千円です。野菜全体の生産量は対前年度比106%の7,792トンで生産額は対前年度比101%の1,384,776千円です。花卉類のうち、切花は生産量が対前年度比105%の70,395本で生産額は対前年度比97%の2,872,647千円、花卉類全体での生産額は、98%の3,081,436千円です。肉用牛は、出荷頭数が対前年度比96%の1,958頭で生産額は対前年度比80%の675,975千円です。

②輸送野菜の共販率とその向上対策をどう考えているか。



整備される精脱葉施設

答弁 輸送野菜の共販率の向上対策については、農作物の安全性確保、品質向上の「認証制度」のための産地作りとして、バレイショ及び石川里芋は「かごしまブランド」「かごしまの農林水産物王妃者認証制度」の認定を受け、消費者が望む安心、安全な農産物の生産に取り組んでいる。今後とも関係機関一体となって共販率向上に努め、有利販売のできる体制づくりを支援していく。

①直近の滞納繰越分の各課今後の対策について

質問 未収金の徴収状況と今後の対策について

毎の滞納額はどうなっているか。

答弁 平成二十一年八月末現在の各課毎の滞納繰越額は、税務課における徴税額が固定資産等を含め、98,247千円、保健福祉課における介護保険及び後期高齢者保険料が3,207千円、土木課における住宅使用料が4,914千円、企画課における有線テレビ使用料が214千円、生活環境課における下水道、農集排水及び水道使用料が13,643千円、総務課における土地及び建物貸付料が3,407千円、町民支援課における保育料及び災害援護資金が4,566千円、耕地課における県営農業農村事業分担金等が10,521千円、経済課における肉用牛導入特別事業等が1,053千円、教育委員会事務局における奨学資金が2,626千円、となっており、総額142,398千円となっている。

②長期滞納者に対する徴収対策はどうなっているか。

答弁 住民税、固定資産税、

軽自動車税、国保税については、文書や電話で納付の催告をすると共に、訪問徴収や納税相談を行い、口座振替の促進、分納等を実施している。長期滞納者については、分納計画、納付誓約書を作り、未納額を減らしていくようにしている。分納や誓約不履行者、高額事案、納付意識がない滞納者に対しては財産調査を行い、差押等を実施していく。

ら収納向上対策会議の主管課を収納対策課へ移管しているが、関係課職員の徴収課題に関する研修を二回実施し、また、収納対策課において、各課からの相談に対し、協議や助言等を行っている。

③収納対策課との連携強化は図られているか。

答弁 平成二十一年度か



収納対策課は税務課と同室です

①産業振興について
②住宅建設について
③職員の意識改革と組織体制の見直しについて

伊集院 徳二議員

①実験農場とバイオ施設の有効活用をどう考えているか。

質問 産業振興について

答弁 実験農場では、農業の担い手の研修育成、新品種・新技術の開発、優良品種・新技術の開発、優良種苗供給、情報収集、土壌分析等、五つの目的をもって運営している。バイオ施設については、優良種苗の増殖や、ニンニクのメリクロンによるウイルスフリーの無病種球の作出を行っており、これからも継続して

取り組んでいく。



鹿大と協同研究中のトルコギキョウ

②経済浮揚を図るための具

答弁 農業の振興こそが、本町経済の浮揚対策に繋がるものと考えている。引き続き、生産基盤の整備を行うとともに、農業青年・農村女性を始め、担い手の育成を図って農業振興に努めている。

①PFI事業の導入に向けてどう取り組んでいくか。

質問 住宅建設について

答弁 この事業は町内の建設業者に実施してもらうことが前提だと考えているが、



コンクリートの腐食が進む喜美留住宅団地

建設業者の意見を集約すると、資金調達が難しいことや、資金の借入に伴い経営事項審査に影響する等の問題があること、また、現在の町の財政が逼迫するような状況でなければ、従来の発注方式を希望するとの意見が多かったため、今後、町内の建設業者が積極的にこの事業を導入したいという状況になった時点で、改めて実施に向けて検討したいと考えている。

②喜美留住宅団地の建替計画はどのようになっているか

答弁 公営住宅法に基づき、建物の法定耐用年数の1／2以上を経過することが条件の一つになっている。今後は団地入居者へのアンケート

ート調査を実施する等、具体的な作業に着手し、平成二三年度以降、経過年数に応じて順次、建替工事に着手する。

【質問】職員の意識改革と組織体制の見直しについて

①どのような取組みを実践しているか。

答弁 二期目就任時、議会と約束した特命チームを組織し、チェック機能の強化策、事務事業の見直し、職員の意識付け、その他の業務改善に繋がる四項目を協議事項として検討を指示し、協議させている。

②特命チームを組織し、今後どのような組織編成を考えているか。

答弁 SSTVの独立、財政と計画の一元化、有機物供給センターの管理移管、環境行政の一元化、タラソ施設の所管問題、保健福祉課内事務の整理統合、教育委員会事務局体制の総括等、組織編成については、慎重に検討しながら次年度以降、順次実行していく。

【生の議会を体験 — 子ども議会 —】

— 子ども議会 —

平成21年8月4日（火）
午前9時開会

第13回子ども議会が、8月4日（火）町議会会議室で行われました。

武 美波さん（城ヶ丘中学校3年）を議長に、和泊中学校5名、城ヶ丘中学校4名の議員が一般質問を行いました。傍聴席で、両校 会議同様真剣に対応していました。

氏 名	学 校 名	質 問 の 概 要
村 田 栞	和 中 3 年	◎環境問題について、字内の清掃活動等を行っているが、町民の意識を高めるための活動（情報交換や環境啓発イベント等）を町全体で取組めないか。
山田明日香	城 中 3 年	◎和泊町のホームページを、学生にも見やすく、楽しく、分りやすいものに工夫できないか。利用件数が増える程、町の発展に繋がると思うがどうか。
前田孝一郎	和 中 3 年	◎古くから伝わる本町の伝統文化を次世代へ引き継がなければならぬが、その拠点施設としての文化ホールを建設できないか。また、音楽、舞踊等の芸術文化に触れる機会を多く企画できないか。
皆 吉 若 菜	城 中 3 年	◎城中校区の通学路には、歩道がなく危険であり、また、街灯の間隔や設置箇所がバラバラで下校時に不安を覚える等、二つの問題があるが、その対策を講じられないか。
芋 高 璃 央	和 中 3 年	◎校舎屋上を緑化したり、太陽光発電パネルを設置することで、冷却効果や省エネ、新エネの推進に繋がらないか。併せて、町財政の活性化を図るための観光・農業等の具体的な施策はないか。
高 田 裕 湖	城 中 3 年	◎サンテレビの視聴率を上げる為、広告については音声を入れたり、曲目の変更をする等、番組については、番組表の作成、配布や投稿ビデオの放送等を企画し、町民にさらに愛されるテレビにして欲しいと思うがどうか。
吉 田 美 里	和 中 3 年	◎運動不足による町民の健康が懸念されるが、誰でも気軽に参加でき、継続性のあるスポーツ大会を計画できないか。また、健康と環境問題を含め、自動車に頼らない社会づくりを推進できないか。
大山五〇和	城 中 2 年	◎和泊町のきれいな海や砂浜が、ゴミ等により汚染されているが、清掃活動を海を持たない字にも分担してもらえないか。また、清掃活動を定期的に行えないか、さらに、町民への呼びかけを徹底できないか。
中 村 祥 子	和 中 3 年	◎観光による環境破壊が心配されるが、島の美しさを保持するための方策をどのように考えるか。観光での町財政を考えているか。また、観光以外の産業の振興をどのように考えているか。

◎ 第4回臨時会(9月25日)

和泊町副町長の人事案件と和泊町固定資産評価審査委員の人事案件がそれぞれ同意されました。

副町長 房村 正博

昭和40年2月26日生 鹿児島県出水市出身
中央大学法学部卒 昭和62年鹿児島県入庁

固定資産評価委員 本部 玲子(和泊字)



房村副町長就任のご挨拶

10月1日付けで副町長を拝命いたしました
房村です。このような大役を仰せつかりました
ことは、大変光栄なことでありますが、責任の重
さで身が引き締まる思いがしております。

着任して約1ヶ月が経とうとしておりますが、
住民の皆様方の暖かい人柄や雄大な自然などに
触れ、本町の懐の深さといったものを感じているところです。

さて、近年、少子高齢化、国際化、情報化、住民ニーズの多様化が進展する中、地方交付税の削減、社会保障関係費の増大等により、

地方公共団体は非常に厳しい行財政運営を迫られており、本町もその例外ではありません。

将来的には、地方分権の一層の推進に伴い、市町村のあり方が大きく変化していくことも予想されるところです。

こうした大きな転換期にあって、経済、雇用情勢は依然厳しい状況にありますが、伊地知町長のもと、職員と一体になって、住民福祉の向上など本町の発展に全力で取り組む所存ですので、ご指導ご助言をいただきますとともに、町政へのご協力をよろしくお願いいたします。



脇田副町長退任のご挨拶



町民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は平成17年10月1日付けで伊地知町長の補佐役(助役)として就任、早くも4年の歳月が過ぎました。振り返ってみますと、就任早々から風力発電施設や花き流通センターの指定管理、並びに法人化の問題等々、いろいろありましたが、関係各位のご指導ご協力により事業の推進ができましたことに対し、衷心より厚く御礼申し上げます。

又、残念なことには、一職員の不適正な事務処理による事件につきましても、町民の皆様方に不信感を与え誠に申し訳なく、二度とこのような事がおこらないよう、各課における事務処理のチェック体制を強化すべきであると考えたところです。

さて、バブルがはじけ世界的な大不況、又、急速に進む少子高齢化や政権が変わる等、先行きが不透明な時代になりました。こういう時こそ、執行部も議会も誇りと自信を持って職務に携わるような体制の確立と意識改革が望まれます。不況のあおりで税金の滞納も増加傾向にあり町財政も益々厳しくなり、産業全般が低迷する中、いかにして町の活性化を図るかが、重要な課題となつて

まいります。もっと農産物や海産物に付加価値をつけた加工品開発や新品目の導入等、新しい産業の掘り起こしを推進して頂きたい思います。さらに、地元で消費する食材は地元で供給する地産地消の確立、花き、輸送野菜、さとうきび、畜産で外貨を稼ぐシステムの確立を関係機関でご検討頂き、雇用を含めた対策につなげて欲しいと思います。

県本土では、これまで産業廃棄物として処理されていた酒粕を乳酸菌による発酵により家畜の飼料や生産資材として活用し、生産コストの低減を図っています。本町も実験農場の施設を生かし、こうした資源を活用し農家の所得向上を図って欲しいと思います。農業の町である本町において、農業の元気が商店街を活性化させ、教育や福祉にも大きく貢献できるものと考えます。

私は4月に腰の手術後8月31日をもって退任し、以来、体調管理に努めているところです。今後は一町民として私のできる範囲で、町の活性化のため努力して参りたいと思います。町民の皆様のご指導・鞭撻をよろしくお願い申し上げ、お礼にかえさせていただきます。

議会運営委員会の構成

平成21年8月3日の第3回臨時議会で議会運営委員会の構成が変わりました。

◎盛 泰夫
○谷山健一郎
伊集院徳二
永野 利則
豊枝 敏勝
和 正巳



盛 議會運営
委員長

議長の諮問を受けて、定例議会や臨時議会の運営のあり方(会期・会期日程・各議案・請願・陳情等の取扱い等)の調査をします。

さらに、議会の会議規則・委員会における条例等について調査及び審査を行います。

◎印 委員長 ○印 副委員長



町議会は年4回の定例会と必要に応じて開く臨時会があります。町議会を傍聴することは、皆さんが行政と議会活動を直接知る最も良い機会です。是非、皆さんが選んだ議員の仕事ぶりを確かめにおいで下さい。

議会や議会だよりへのご意見を議会広報へ

◎皆さんの声を紙上でご紹介させていただきます。議会広報委員会(議会事務局)までお寄せ下さい。

◎本会議の質疑・一般質問等は紙面の都合により要約してあります。詳細は議会会議録を御覧下さい。議会会議録は各議員・役場・議会にあります。

編集後記

国政においては、八月三十一日に行われた衆議院選挙で与野党が逆転する構図となり、国民にとっては期待と不安が交錯しているのではないのでしょうか。一方、本町においては、七月十四日より伊地知町長の二期目がスタートしました。又、八月三十一日で退職された脇田副町長の後任に、県庁より房村正博氏を新副町長に迎えることが出来ました。町政は、町民の為の政治でなければならぬと考えます、行政と議会は車の両輪の如く、町政発展のため、努力を重ねてまいります。皆様方のご意見を議会にお寄せいただければ幸いに存じます。

(文責 宮田 裕雄)

議長 長前田 力

委員	副委員長	委員
同	員	長
平	永野	宮田
勝	利則	裕雄
美		